

# 平成30年度 学校評価について

2019年2月14日

由岐中学校

余寒の候、保護者の皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、由岐中学校教育にご理解とご協力を頂き誠にありがとうございます。

さて、先日学校評価アンケートの実施に際しまして、ご協力を頂きありがとうございます。アンケートの結果が集計できましたのでご報告申し上げます。アンケートにご記入いただいた貴重なご意見・ご要望は、今後の学校運営の参考にしていきたいと思います。今後ともご意見・ご要望がありましたら遠慮なくお申し出ください。それでは、アンケートの結果から考察したことを以下のようにまとめましたので、ご一読いただければと思います。

## ◆ 学校生活について

生徒へのアンケート調査では、「友達を思いやり、助け合い仲良く過ごしている」と感じている生徒は78%という結果になっています。由岐中学校では学級生活・部活動など様々な場面において、生徒達の行動の変化や友人関係の変化などを把握するように努めています。ささいな交友関係のトラブルから深刻ないじめに発展しないよう、今後とも生徒達の変化に注視していきますので、ご家庭でお気付きの点があれば、いつでもご連絡ください。保護者アンケートからも、この項目では生徒とほぼ同じように肯定的にとらえられています(89%)。しかしながら、生徒達は自分の不満やいらだちを家庭や学校で打ち明けることが十分に出来ていないこともあろうかと思われれます。これからも保護者の皆様と学校が連携し、生徒達の成長を見守っていかねばと思います。

「挨拶ができる・服装・清掃」等、ルールやマナーの定着における、生徒・保護者評価はほぼ9割近くが肯定的であり、生徒達はきまりを守り落ち着いた生活が送れています。ただ保護者アンケートからは、家の片付けや地域の清掃活動等にさらに積極的に取り組んでもらいたいとの結果が出ています。決められたことに真面目に誠実に取り組める良さを、一層積極的に表現して欲しいと思います。そうすることで自信が深まり、自分の良さに気づいているという項目における認識も高まると考えられます。自分の良さに気づいている生徒は28%という現在の結果をしっかりと受け止め、生徒達の自尊感情を高め、自他共に認め合い向上心を持って生活できるような支援を続けていきたいです。

また、先生は親身になって悩みを聞こうとしていると感じている生徒は61%となっています。生徒と対話を欠かさず、一層生徒理解に努めていきます。今後、さらに生徒達や保護者の皆様からの信頼を高め、生徒達の健やかな成長を支えられるように頑張ります。日々の教育活動を真摯に見つめ直し、研修を怠ることなく、自らを高めていく努力を続けていきたいと思っております。

## ★ 学習について

「授業がよくわかる」という項目では、生徒達・保護者の皆様とも6割程度肯定的にとらえていますが、否定的にとらえ、学習に対して不安を抱いている部分が多いという結果も出ました。中学生になると学習量も多く、難度もあがるという現実があります。由岐中学校の先生は放課後、あるいは部活動指導の後、翌日の授業計画・板書計画など常に教材研究を行っています。宿題や課題の提出は8割以上の生徒ができていますが、一層努力を重ね、生徒にとってわかりやすく楽しい授業作りを目指していきたくと思います。

宿題や課題等の家庭学習については、94%の生徒は自分なりに頑張っていると答えています。保護者の方からは、家庭学習の習慣が身につくようにより一層充実した手立てを希望しているというアンケート結果になっています。まだ家庭学習の習慣がついていない場合は、たとえ短い時間であっても、毎日繰り返し学習する習慣を身につけてほしいものです。計画的に学習している生徒は39%という結果になっていますので、課題や宿題等の工夫・充実を進めながら、ご家庭との連携のもとさらに自主的学習習慣の定着を目指していきたくです。テストの結果に一喜一憂するのではなく、繰り返し学習することで学年に応じた真の「学力」の定着が図れます。学校で学習したことを家庭学習で定着させていけるよう、一層良い学習習慣を身につけましょう。

体育的行事や部活動への積極的参加は、ほぼ8割程度達成されています。食育も含め、これからも生徒達の健康安全を第一に教育活動を進めていきたくと考えています。

## ※ 学校運営について

「子どもが学校や通学路で事故や災害にあったとき、どう連絡や対応をすればよいか理解している」という項目で、保護者の皆様が肯定的にとらえている割合は8割となっています。しかしながら、生徒項目の「学校や通学路で、事故や災害時にどうするか学んでいる」における肯定的な意見は39%の生徒にとどまっています。大規模地震・津波が発生したときに備え、避難場所の確保・避難経路の確認等、生徒・教職員が臨機応変に対応できるしっかりとした体制を作り上げていきたくと思います。今年度も大津波警報発令時に備えて由岐坂から備蓄倉庫前への避難訓練を行いました。由岐小中が連携して、災害時の防災知識を最大限生かして実践へつなげていければと考えています。「由岐小中学生は地域の防災拠点を担う児童生徒の役割をきちんと果たし、地域の期待にも十分応えている。」と、周囲の方々から認めてもらえるように今後も努力していきます。

また、保護者項目の「先生は子どもの様子をきめ細かく連絡してくれる」「学校は参観日や学校行事などの取り組みについて、きめ細かに知らせてくれる」では、ほぼ9割程度肯定的な評価をいただいています。PTA会長様をはじめ、PTA会員の保護者の皆様のご支援を最大限生かせるように頑張ります。また、学校行事・PTA活動等がマンネリ化することなく、さらに活気のある教育活動が推進できるように、教職員一同しっかり努力していきたくと思います。今後とも、どうぞよろしく願いいたします。